



## NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788  
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920  
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

## NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN  
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920  
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長  
吉高 叶  
総幹事  
金性済

Rev. Kano YOSHITAKA  
Moderator

Rev. Dr. Sungjae KIM  
General Secretary

### 沖縄戦・太平洋地域戦没者遺骨問題に関する要望書

内閣総理大臣 菅義偉 様  
防衛大臣 岸信夫 様  
厚生労働大臣 田村憲久 様

私たち、キリスト者(プロテスタント、カトリック)は、仏教者の方々と共に、宗教者の重大なる関心と課題として、沖縄本島南部における沖縄戦戦没者遺骨の混じった土砂を辺野古新基地建設に使ってはならないという訴えを、40年にわたりその地で戦没者の遺骨収集に取り組んでこられたガマフヤー、具志堅隆松氏に連帯しながら、昨年12月より続けてまいりました。

この問題をめぐる菅首相をはじめ、防衛省、沖縄防衛局、そして厚生労働省の応答は、戦没者遺骨収集推進法(以下、推進法)に基づき戦没者の遺骨を収集する方針は変更せず、あとは現地の地方自治体と業者が土砂採取に際し、遺骨を含めぬよう指導するというものでした。これは、推進法において、戦没者の遺骨収集は「国の責務」を謳っていることに反し、日本政府は無責任というほかありません。

沖縄における戦没者の遺骨収集は次世代にまで引き継がれていくほかない果てしない作業であるとともに、土の中に浸み込み溶け込んだ血と骨は、もはや収集不可能なのです。したがって、沖縄本島南部の戦跡国定公園の土砂は収集してはならず、沖縄戦の悲惨な歴史を未来に語り継ぐために公園を大切に保全していくべきなのであり、日本政府は、この度の事態をもたらした昨年4月の設計変更を撤回すべきです。

さらに、一昨日9月14日に衆議院第一議員会館にて開催された『9・14沖縄戦・太平洋地域戦没者遺骨意見交換会』(以下、意見交換会)において、沖縄本島のみならず、太平洋地域にわたり、すでに収集された戦没者の遺骨の検体数の全貌が明らかにされました。そして今後の課題はそれらの遺骨の検体に関して、戦没者と遺族のつながりを解明するDNA鑑定を早急に推進すると共に、安定性同位体比検査による戦没者の遺骨の出身地を特定することが、具志堅隆松氏をはじめ、昨日の厚生労働省・外務省・防衛省との交渉に臨んだ市民運動によって明確に提起されました。

戦後今日まで76年間、国家の戦争に強制動員され、戦没後も愛する家族の遺骨が現地に置き去りにされた無念と悲しみを負い続けてこられた遺族に寄り添わずにおれない私たちは、日本政府が国の責務としてこの重大な課題を怠ったり、遅滞させることなく全力で取り組まれることを強く要請いたします。

さらに昨日の意見交換会において、たとえば中部太平洋の戦地となったタラフ島において4700体にも及ぶといわれるアジア系の遺骨のうち、日本兵の戦死者以外のおよそ1200体が韓国・朝鮮人のものだと推定されると、具志堅隆松氏の提出した「質問事項」には記しています。昨日の意見交換会の会場でオンラインで参加された韓国の遺族が自分たちの父の遺骨の収集を怠らず、必ず返してほしいと嘆願をされる声と姿が会場の人々の心を揺さぶりました。

1910年の韓国強制併合以降、朝鮮半島では朝鮮総督府により国家神道普及(神社)政策が徹底され、そして



## NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788  
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920  
E-mail : general@ncc-j.org <http://ncc-j.org>

## NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN  
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920  
E-mail : general@ncc-j.org <http://ncc-j.org>

総会議長  
吉高 叶  
総幹事  
金性済

Rev. Kano YOSHITAKA  
Moderator

Rev. Dr. Sungjae KIM  
General Secretary

1937 年からは『皇国臣民の誓詞』朗唱と宮城遙拝の徹底により、天皇のために命をささげる皇民化政策が推進され、日本の戦地に多くの男性が軍属として、また女性が「慰安婦」として強制動員され、さらには国民総動員政策の下、戦闘員として朝鮮人を動員する政策が 1930 年代終わりから推進されることになりました。

朝鮮に対する植民地支配と共に日本政府は他民族に対する戦争の重大な歴史責任を負っているといえます。この歴史を振り返るとき、「日本人戦没者の問題が終わってから」といって、韓国・朝鮮人の戦没者遺骨の収集と遺族への返還を後回しにすることは、それこそ戦前からの植民地主義的な差別観が反映したものというほかありません。

タラワ島での朝鮮半島出身者の遺骨の事例が判明したからには、韓国・朝鮮人戦没者の遺骨の特定のための安定性同位体比検査を、日本人戦没者と同時並行して推進していくことが隣国に対する植民地支配と戦争の責任を負う日本政府の取るべき道と考え、私たちは、日本政府が沖縄・太平洋地域戦没者遺骨収集とその DNA 検査・安定性同位体比検査の対象について韓国・朝鮮人の問題を遅滞させることなく、日本人戦没者と同時的に実施することをここに強く要請いたします。

2021 年 9 月 16 日

日本キリスト教協議会

総幹事 金性済

東アジアの和解と平和委員会委員長 飯塚拓也

靖国問題委員会委員長 星出卓也